



Informatica® Application Integration
Fall 2019 November

アドレス検証サービスコネ クタガイド

Informatica Application Integration アドレス検証サービスコネクタガイド
Fall 2019 November
2019 年 11 月

© 著作権 Informatica LLC 1993, 2020

発行日: 2020-01-29

目次

序文.....	4
第 1 章 : アドレス検証サービスコネクタの概要.....	5
Informatica Address Verification Service Connector の概要.....	5
第 2 章 : アドレス検証サービス接続.....	6
アドレス検証サービス接続の概要.....	6
基本的な接続プロパティ.....	6
アドレス検証サービス接続のプロパティ.....	7
第 3 章 : アドレス検証サービスコネクタプロセス.....	8
対話型サービス.....	8
索引.....	10

序文

アプリケーションの統合向けのアドレス検証サービス接続ガイドを参照して、Informatica Address Verification Service Connector で接続をセットアップして使用する方法を学びます。ここでは、アプリケーションの統合を使用してサービス呼び出しを定義する方法を理解していることを前提としています。

第 1 章

アドレス検証サービスコネクタの概要

- [Informatica Address Verification Service Connector の概要, 5 ページ](#)

Informatica Address Verification Service Connector の概要

Informatica Address Verification Service Connector は、公開済み API を使用して世界中の住所をリアルタイムで確認および検証できる、オンラインのアドレス検証ソリューションです。Informatica Address Verification Service Connector をアプリケーションの統合とともに使用することで、ファイアウォールの範囲内だけでなく、クラウド上のあらゆる場所で Informatica Cloud のプログラムやサービスと相互運用できます。

公開済み API にアクセスするには、Informatica Process Designer でサービスコネクタを作成します。

Informatica Address Verification Service Connector を使用すると、接続を設定し、SOAP プロトコルを介してアドレス検証サービス API にアクセスできます。続いて、プロセスにある、API で公開されたサービスを使用できます。

Informatica Address Verification Service Connector は、顧客が使用できるようにすでにライセンス供与されています。使用するためにライセンスを購入する必要はありません。

第 2 章

アドレス検証サービス接続

この章では、以下の項目について説明します。

- [アドレス検証サービス接続の概要, 6 ページ](#)
- [基本的な接続プロパティ, 6 ページ](#)
- [アドレス検証サービス接続のプロパティ, 7 ページ](#)

アドレス検証サービス接続の概要

アドレス検証サービス接続を使用すると、SOAP プロトコルを介してアドレス検証サービス API にアクセスできます。続いて、プロセス内で、API で公開されたサービスを使用できます。

アドレス検証サービス接続の作成後に接続を検証して保存できます。

次に、アドレス検証サービス接続をパブリッシュして、**【メタデータ】** タブをクリックし、接続用に生成されたプロセスオブジェクトを表示できます。

基本的な接続プロパティ

次の表に、接続の作成ページの**【プロパティ】** タブで設定可能な基本プロパティを示します。

プロパティ	説明
名前	必須。アドレス検証サービス接続が Process Designer で識別される一意の名前。 名前はアルファベットで始まり、アルファベット、数値、ハイフン (-) のみを含めることができます。
場所	オプション。接続を保存するプロジェクトまたはフォルダの場所。 【参照】 をクリックして場所を選択します。 【参照】 ページが現在アクティブになっていて、プロジェクトまたはフォルダが選択されている場合、接続のデフォルトの場所はその選択されているプロジェクトまたはフォルダです。そうでない場合、デフォルトの場所は直近で保存されたアセットの場所です。
説明	オプション。接続の説明。

プロパティ	説明
タイプ	必須。コネクタまたはサービスコネクタに使用する接続のタイプ。 [Informatica Address Verification Service (ライセンス付与済み)] を選択します。
実行日時	必須。接続を実行する必要がある Cloud Server、Secure Agent グループ、または Secure Agent マシン。
接続テスト	Informatica Address Verification Service Connector ではサポートされません。
OData 対応	Informatica Address Verification Service Connector ではサポートされません。

基本プロパティを設定したら、Informatica Address Verification Service Connector に該当するプロパティの定義も行う必要があります。

アドレス検証サービス接続のプロパティ

次の表は Informatica Address Verification Service 接続のプロパティについて説明します。

プロパティ	説明
ログイン	必須。アドレス検証サービスのデータ品質センターのアカウント ID。
パスワード	必須。アドレス検証サービスのデータ品質センターのパスワード。
EndPointUrl	サービスコネクタがアドレス検証サービス接続にアクセスするための URL。

第 3 章

アドレス検証サービスコネクタプロセス

- [対話型サービス, 8 ページ](#)

対話型サービス

対話型サービスを設定し、アドレスを入力して Informatica Address Verification Service Connector でそれらを検証します。

Informatica Address Verification Service Connector には、対話型と呼ばれるサービスが含まれます。対話型サービスを使用すると、入力した住所に最も適した住所を得ることができます。

対話型サービスを使用するには、プロセスを作成し、次の手順を実行します。

1. ステップタイプとして **【サービス】** を選択します。
2. **【アクション】** として、**【アドレス検証サービス接続名】** > **【アドレス検証】** > **【対話型】** を選択します。
3. サービスに必要な入力フィールドを特定して渡します。

次の入力フィールドを設定します。

入力フィールド	説明
番地	入力した住所の番地。入力値は、建物名、番地、町名です。
市区町村	入力した住所の市区町村。
都道府県	入力した住所の都道府県名。
国	入力した住所の国名。

Informatica Address Verification Service Connector は、これらの入力フィールドの情報を受け取ります。

次の出力フィールドを表示できます。

出力フィールド	説明
完全な住所	Informatica Address Verification Service Connector で検証される完全な住所。
番地	Informatica Address Verification Service Connector で検証される番地。
市区町村	Informatica Address Verification Service Connector で検証される市区町村名。
都道府県	Informatica Address Verification Service Connector で検証される都道府県。
国	Informatica Address Verification Service Connector で検証される国。
郵便番号	Informatica Address Verification Service Connector で検証される郵便番号。

索引

あ

アドレス検証サービス
 接続プロパティ [7](#)
アドレス検証サービスコネクタ
 概要 [5](#)
アドレス検証サービス接続
 基本プロパティ [6](#)

さ

サービス [8](#)